

第13号 バージャー病 NEWS

2020年3月31日発行
発行：認定NPO法人バージャー病研究所
〒302-0118
茨城県守谷市立沢 980-1
TEL 0297-47-9955
FAX 0297-45-4541
http://keiyu.or.jp/vascularcenter
E-mail:vascular@keiyu.or.jp
発行者：岩井武尚
編集：小笠原敏子・宮口順一

バージャー病は、動脈硬化症と非常に近い接点がある

血管内皮細胞を壊していたのは、歯周病菌だった。

動脈硬化といっても動脈の内腔がおかゆようになる種類は粥状硬化症（じゅくじょう）とか（じょう）とか（じょう）と呼ばれている。このアテロームと呼ばれるお粥のような、黄色のどろどろしたチーズのようなものが内腔を狭めたり、コレステロール結晶を頭などに飛ばしたりして心筋梗塞や脳卒中を起こすのである。

動脈は内膜・中膜・外膜の三層からできている。動脈という管の一番内側にあたる内膜は、一層に張り巡らされた強い内皮細胞が隙間なく並んでいる。この膜は簡単には壊せない。しかし、血栓やアテロームのできた病気の動脈は、明らかに内膜が破壊されている。この破壊の原因がわかれば病気の理解は急速に進むことになる。バージャー病ではタバコ、粥状硬化症ではタバコのほか、高血圧、糖尿病、高脂血症などが破壊の根源ではないかとされてきた。さらにホ



(アテロームの写真)

モシスティンというような体内物質も怪しまれた。その他怪しいものとしてウイルスや病原菌があった。が、血管病の研究の流れとして、なぜかウイルスや菌は研究の中心から外されてきた。それは多分菌がつくと、そこで増えて繁殖するものだという固定観念があったからである。

しかし、ここに来て歯周病がクローズアップされ「血管と歯周病菌」は切り離せない関係になってきた。現代人間の8割に歯周病が



(内皮細胞の図)

だいが昔であるが、タバコが動脈の内皮細胞を壊して血栓を作り始めるのではないかと、としてラットを洗面器の中で8か月の長きにわたってタバコを吸わす実験をやった日本人がいた。ラットの寿命の1/3を実験し続けたのである。



(洗面器の実験)

その結果であるが何もできなかった。ストレスで多少の血管の変化はあったものの、バージャー病はできず、成功しなかった。同じく、高血圧、糖尿病、高脂血症、尿病、高脂血症だけでは内皮細胞は破壊されな

ティンもダメであった。そうこうするうちにグラム陰性菌（菌を染める色素で分類すると赤く染まる菌）の外膜にあるリポ多糖類（リポポリサッカライド・LPS）に血管内膜を破壊する作用があることが判ったのである。45年ほど前であるが、大腸菌のLPS（菌ではないので感染はしない）だけを動脈内に植えこんだらバージャー病にそっくりな血栓・血管炎ができたという報告も出てきた。しかし大腸菌をはじめグラム陰性菌の種類はとも怖い菌だらけである。

例えば、サルモネラ菌、シユードモナス菌、レジオネラ菌、淋菌、髄膜炎菌、緑膿菌、ピロリ菌、肺炎桿菌、チフス菌：まさかそんな恐ろしい菌の感染がバージャー病や粥状硬化症に関係あるとは思ってもよらない。これらが血管に入りこむと、内膜が壊れるが、ピロリ菌以外は血管内や体内でも増殖して、人間が死に至ることもあるほど毒性が強い。ところが、このバージャー病と粥状硬化症という二つの血管病には、内膜だけを壊してくれる菌が必要である。つまり、内膜を破壊するが自分分は死んでしまう菌がほしいのである。いままで考えも及ばなかった菌、それが歯周病菌だった。毒性は弱い

が立派なグラム陰性菌である。内膜・内皮細胞が壊れば、バージャー病も粥状硬化症も中身の組成の違いだけで発症過程は説明できるのである。すなわち、バージャー病はタバコ由来の歯周病菌だけで出来上がった病気、粥状硬化症は歯周病菌プラス高血圧、糖尿病、高脂血症、さらに肥満や老化などが加味して出来上がった病気となるわけである。

私はうつろいが多い

今回登場のMMさん62歳です。40歳代に発症して手足の冷たさを訴えていたが、バージャー病の決め手となる所見や病気の決める手が乏しく、この間にか60歳代を迎えました。

★来院時、右手の指に潰瘍があつてさ



(写真1)

★歯の状態はどうですか？



(写真2)

★足の症状もあつたと思ひますがいかがですか？



(写真3)

深部静脈血栓症（以下DVT）は近年増大傾向にある疾患である。10年間に約30倍増加し、数年前に「エコノミークラス症候群」という名で世間に知れ渡った。DVTが増加した背景は、検査技術の向上や高齢化など多々考えられるが、そのほかに発生が増加している近年、日本に何

正座生活が血栓予防!?

動いている。しかし、椅子に座してしまつと足を下げ動かさずじつとしてしまふ。すると静脈の血流は鬱滞して血栓が出来やすくなる。床から立ち上がる方が椅子より多くの筋力を使うし可動域も広くなくはない。脚が丈夫ということもある。血栓はじつとしていて床で生活する事で血栓を予防しているかもしれない。(血管診療技師 本間)

バージャー病相談室のご案内

バージャー病研究所のホームページでは相談室を開設しております。日頃から気になる症状や疑問に思うことなどお気軽にご相談ください。ホームページからのメールフォームでも受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さい。

http://keiyu.or.jp/vascular/



告知板：第十二話 アイコスは禁煙に なりません!

「アイコス」「グロー」「パイプ」「ペコワン」...

今年4月より法律で屋内喫煙が原則禁止になります。そこでにわか

「加熱式タバコ」はタバコ葉を燃やさずに加熱しニコチンを発生させ、タバコ葉に含まれたグリセリ

の蒸気を煙の代替とするもの。燃焼時に発生するタールが9割減ると言われていますが、タバコ葉を使用するのでタバコのニコチンとタールの含有率はほぼ同じです。

【電子タバコ】は様々なフレーバーキッドを加えて楽しむことができます。タバコ葉を使用しないため国内販売はされていませんが、ニコチン入りの電子タバコキットも多

禁煙パイポの進化版もしくはアロマグッツに近いものと言えそうです。

問題は本当に健康に害がないかです。タールは減りましたがニコチンを吸っている以上、加熱式タバコで禁煙していることにはなりません。国内販売はされていませんが、ニコチン入りの電子タバコキットも多



当法人は皆さまからの寄付金により運営されています。たくさんのご支援、誠にありがとうございます。

■寄附受付口座：筑波銀行 南守谷支店 普通・1057042

■口座名：特定非営利活動法人バージャー病研究所 代表 岩井武尚

■事務局連絡先：0297-47-9955 担当/小笠原

